

## 技術提案書の提出者を選定するための評価基準

評価項目	評価の着眼点			評価ウェイト
	判断基準			
参加表明者（企業）の経験及び能力 ■40点	専門技術力	成果の確実性	①同種業務の実績 平成28年度以降に完了した同種業務の実績について下記の順位で評価する。 ① 同種業務の実績が5件（15点） （ただし、実績が5件のうち下水道事業におけるPPP/PFI導入検討業務が2件以上含まれること。） ② 同種業務の実績が4件（10点） ③ 同種業務2件以上4件未満（5点）	15
			②下水道部門における業務表彰実績の有無 表彰実績は、平成28年度以降に九州管内で完了した業務とし、国土交通省、日本下水道事業団、学会、各種協会等から受賞したもののについて下記の順位で評価する。 ① 業務で3件以上の表彰実績有り（15点） ② 業務で2件以上の表彰実績有り（10点） ③ 業務で1件以上の表彰実績有り（5点）	15
	情報収集力	地域精進度	③当該地域の業務実績 令和3年度以降の下水道の業務実績について下記の順位で評価する。 ① 佐賀市内での3件以上の業務実績有り（10点） ② 佐賀市内での1件以上の業務実績有り（5点）	10
小 計				40
予定管理技術者の経験及び能力 ■28点	資格要件	技術者資格等	技術者資格等、その専門分野の内容 下記の順位で評価する。 ① 技術士（総合技術監理部門：上下水道－下水道）及び（上下水道部門：下水道）の両方を有する（2点） ② 技術士（総合技術監理部門：上下水道－下水道）及び（上下水道部門：下水道）のいずれか一方を有する（1点）	2
		業務執行技術力	①同種業務の実績 平成28年度以降に完了した同種業務の実績について下記の順位で評価する ① 同種業務の実績が5件（14点） （ただし、実績が5件のうち下水道事業におけるPPP/PFI導入検討業務が2件以上含まれること。） ② 同種業務4件（10点） ③ 同種業務2件以上4件未満（5点）	14
			②下水道部門における業務表彰実績の有無 表彰実績は、平成28年度以降に九州管内で完了した業務とし、国土交通省、日本下水道事業団、学会、各種協会等から受賞したものを評価する。 ① 業務で1件以上の表彰実績有り（4点）	4
	情報収集力	地域精進度	③当該地域の業務実績 令和3年度以降の下水道の業務実績について下記の順位で評価する。 ① 佐賀市内での2件以上の業務実績有り（8点） ② 佐賀市内での1件以上の業務実績有り（4点）	8
小 計				28

評価項目	評価の着眼点			評価ウェイト
	判断基準			
予定照査 技術者の 経験及び 能力  <b>■各16点</b>	資格要件	技術者資格等、その専門分野の内容	下記の順位で評価する。 ① 技術士（総合技術監理部門：上下水道－下水道）及び（上下水道部門：下水道）の両方を有する（2点） ② 技術士（総合技術監理部門：上下水道－下水道）及び（上下水道部門：下水道）のいずれか一方を有する（1点）	2
	専門技術力	業務執行技術力 ①同種業務の実績	平成28年度以降に完了した同種業務の実績について下記の順位で評価する。 ① 同種業務の実績が5件（10点） （ただし、実績が5件のうち下水道事業におけるPPP/PFI導入検討業務が2件以上含まれること。） ② 同種業務の実績が4件（6点） ③ 同種業務2件以上4件未満（3点）	10
		②下水道部門における業務表彰実績の有無	表彰実績は、平成28年度以降に九州管内で完了した業務とし、国土交通省、日本下水道事業団、学会、各種協会等から受賞したものを評価する。 ① 業務で1件以上の表彰実績有り（2点）	2
情報収集力	地域精通度	③当該地域の業務実績	令和3年度以降の下水道の業務実績について下記の順位で評価する。 ① 佐賀市内での1件以上の業務実績有り（2点）	2
<b>小 計</b>				<b>16</b>
予定担当 技術者の 経験及び 能力  <b>■各16点</b>	資格要件	技術者資格等、その専門分野の内容	下記の順位で評価する。 ① 技術士（総合技術監理部門：上下水道－下水道）及び（上下水道部門：下水道）の両方を有する（2点） ② 技術士（総合技術監理部門：上下水道－下水道）及び（上下水道部門：下水道）のいずれか一方を有する（1点）	2
	専門技術力	業務執行技術力 ①同種業務の実績	平成28年度以降に完了した同種業務の実績について下記の順位で評価する。 ① 同種業務の実績が5件（10点） （ただし、実績が5件のうち下水道事業におけるPPP/PFI導入検討業務が2件以上含まれること。） ② 同種業務の実績が4件（6点） ③ 同種業務2件以上4件未満（3点）	10
		②下水道部門における九州管内での業務表彰実績の有無	表彰実績は、平成28年度以降に九州管内で完了した業務とし、国土交通省、日本下水道事業団、学会、各種協会等から受賞したものを評価する。 ① 業務で1件以上の表彰実績有り（2点）	2
情報収集力	地域精通度	③当該地域の業務実績	令和3年度以降の下水道の業務実績について下記の順位で評価する。 ① 佐賀市内での1件以上の業務実績有り（2点）	2
<b>小 計</b>				<b>16</b>
<b>合 計</b>				<b>100</b>
※参考：うち予定技術者（管理、照査、担当）点数計×0.5（＝二次審査の評点に含まれる移行点数）				<b>30</b>